

科目ナンバリング										
授業科目名 <英訳>		中国語II A [文法・文化理解] C210 Intermediate Chinese A [Grammar, Cross-cultural understanding]				担当者所属 職名・氏名		非常勤講師 上原 尉暢		
群	外国語科目群			分野(分類)			使用言語	日本語		
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習(外国語)(対面授業科目)			
開講年度・ 開講期	2024・前期		曜時限	金3		配当学年	2回生以上	対象学生	全学向	
【授業の概要・目的】										
<p>本授業は、読解練習が中心となるが、音読や重要構文を用いた作文、及びディクテーションの練習も併せ行う。その目的は、初級で学んだ文法的事項に対する理解を一層深めつつ、多様な練習問題を消化することで、中国語の総合力を強化することにある。同時にテキストに描かれる話題を通して、現代の中国社会や文化への理解や関心を広げることにある。</p>										
【到達目標】										
<p>1) 中国語で書かれた簡単なエッセイを、無理なく理解できる程度にまで読解能力を向上させる。  2) 中国語の発音やスピーキングのレベルを高め、同時にヒアリングの精度も上げるようにする。  3) 現代の中国社会および中国文化に関する視野を広げ、個人的な見解を展開できるようにする。</p>										
【授業計画と内容】										
(授業計画と内容)										
第一回 オリエンテーション：中国語学習の要点について・この授業の進め方										
第二回 第一課「北京」 課文訳読・解説・発音練習・重要構文作文練習・ディクテーション・関連する話題の紹介										
第三回 第二課「上海」 課文訳読・解説・発音練習・重要構文作文練習・ディクテーション・関連する話題の紹介										
第四回 第三課「西安」 課文訳読・解説・発音練習・重要構文作文練習・ディクテーション・関連する話題の紹介										
第五回 第四課「広州」 課文訳読・解説・発音練習・重要構文作文練習・ディクテーション・関連する話題の紹介										
第六回 第五「讓一部分人先富起来」 課文訳読・解説・発音練習・重要構文作文練習・ディクテーション・関連する話題の紹介										
第七回 第六課「驕傲的GDP的背后」 課文訳読・解説・発音練習・重要構文作文練習・ディクテーション・関連する話題の紹介										
第八回 中間テスト・問題解説										
第九回 第七課「互聯網在改变中国」 課文訳読・解説・発音練習・重要構文作文練習・ディクテーション・関連する話題の紹介										
第十回 第八課「房奴、車奴和#21345奴」 課文訳読・解説・発音練習・重要構文作文練習・ディクテーション・関連する話題の紹介										
第十一回 第九課「万里長城」 課文訳読・解説・発音練習・重要構文作文練習・ディクテーション・関連する話題の紹介										
第十二回 第十課「泰山」 課文訳読・解説・発音練習・重要構文作文練習・ディクテーション・関連する話題の紹介										
第十三回 第十一課「秦始皇陵及兵馬俑坑」 課文訳読・解説・発音練習・重要構文作文練習・ディクテーション・関連する話題の紹介										
第十四回 第十二課「客家与“福建土楼”建筑群」 課文訳読・解説・発音練習・重要構文作文練習・ディクテーション・関連する話題の紹介										
中国語IIA [文法・文化理解] C210(2)へ続く										

中国語II A [文法・文化理解] C210(2)

第十五回 定期テスト  
第十六回 フィードバック

**[履修要件]**

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

**[成績評価の方法・観点]**

- ・原則として中間テスト30%、定期テスト50%、平常点20%で評価する。
- ・平常点については、授業への積極的な態度を主たる基準とする。
- ・試験については、授業内で扱った練習問題をアレンジしたものを出題する予定である。
- ・4回以上授業を欠席した場合には、単位を認めない。

**[教科書]**

村松恵子・前田光子・董紅俊 『新版・中国之窗 認識真実的隣国』（白帝社）ISBN:978-4-86398-268-0

**[参考書等]**

（参考書）  
授業中に紹介する

**[授業外学修（予習・復習）等]**

- 1) 普段から中国語を音読する練習をしておくこと。
- 2) 授業を効率的に進めるために、十分な予習・復習をした上で授業に臨むこと。
- 3) その他中国学習全般の学習方法については、授業中に適宜紹介する。

**[その他（オフィスアワー等）]**

本講義で生じた質問や相談については、本授業終了後に応じる。